

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
4 -	商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくりを推進する	産業振興部、都市整備部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	改訂計画 策定時	実績値				5年度 目標値
			2年度	3年度	4年度	5年度	
魅力化実施店舗数 (累計)	店舗	46	59	65			82
平塚駅周辺地区 (明石町、紅谷町) の空き店舗の減少 数(累計)	件	0	3	6			3
関連事業							
商店等魅力アップ推進事業 商店街にぎわい創出事業 中心市街地活性化推進事業 見附台周辺地区整備事業							
決算額							
		2年度	3年度	4年度	5年度		
事業費(千円)		1,804,761	5,209,090				
執行率(%)		79.34	99.20				
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<p>「中心市街地全体に波及するまちづくりの支援」 平塚まちなか活性化隊等によるさまざまな活動を支援し、「星に願いをプロジェクト」、「二十歳の同窓会」、「ハッピープロジェクト」などが実施されました。また、平塚まちなか活性化隊と金融機関や学生などとの連携を図りました。</p> <p>「商品、店舗の魅力化、個性化の取組の支援」 専門知識を有するアドバイザーの派遣や商業経営セミナーの開催等により、個店の魅力化を促進しました。また、着地型観光推進事業との連携などを通じ、「ひらつか匠の店」の市内外での認知度向上を図りました。</p> <p>「商店街団体等が実施するにぎわいづくりの支援」 商店街団体等が実施する販売促進活動などに対する支援や、中心市街地の空き店舗を活用して出店を行う事業者等に対する店舗賃借料や店舗改装費への助成の拡充などを行うことで、コロナ危機における商店街のにぎわい維持を図りました。</p>							

「見附台周辺地区の再整備」

ひらしん平塚文化芸術ホール等の工事を進め、令和4年3月26日にオープンしました。

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<p>「中心市街地全体に波及するまちづくりの支援」 新型コロナウイルス感染症の影響下において、イベントに頼らない恒常的な活性化施策の展開が必要です。</p> <p>「商品、店舗の魅力化、個性化の取組の支援」 消費者に選ばれる個店づくりや、ウィズコロナに対応した個店の取組を促進する必要があります。</p> <p>「商店街団体等が実施するにぎわいづくりの支援」 集客や購買につながる商店街団体等の活動を促進するとともに、中心市街地においては、急増する空き店舗の対策に引き続き重点的に取り組む必要があります。</p>	<p>「中心市街地全体に波及するまちづくりの支援」 ウィズコロナ・ポストコロナの視点を加えた事業が実施されるよう、市民・商業者等で構成する団体に対して、活動費などの継続的な支援を行います。</p> <p>「商品、店舗の魅力化、個性化の取組の支援」 個店の魅力化を促進するため、アドバイザーの派遣などを通じて市内外の消費者に訴求するとともに、ECサイトの構築など、ウィズコロナに対応した個店の取組を支援することで、売上の維持・向上を図ります。</p> <p>「商店街団体等が実施するにぎわいづくりの支援」 商店街の活性化を促進するため、商店街団体等が行う販売促進事業等に対し事業費補助などの支援を行うとともに、中心市街地の空き店舗の推移を踏まえた店舗賃借料等の助成をしていきます。</p>